

親子で生き物探し

みたけの里
協議会主催

畑川で観察会

みたけの里づくり協議会がこのほど、新瀬利大橋（瀬利）下の畑川で「畑川でじゃことり！川の生きもの観察会」を開いた。親子約20人が網で魚や水生昆虫などを捕まえ、身近にある川や生き物への関心を高めた。

同協議会の会長は、開始の合図と同時に雲高校自然科学部の5人、篠山鳳鳴高校の科目



「ミズカマキリを捕った」と友人に見せる子ども＝丹波篠山市瀬利で

2023年8月13日
丹波新聞

入り、「何かおる」「見つけた」と言いながら、生き物を探まえては、水槽の中に入れていった。生き物に詳しい子どもも多く、「ここは魚が隠れやすいからね」と、同協議会メンバーに誇らしげに教える子どももいた。

篠山東雲高の主幹教諭が生き物の名前を紹介。カワムツ、ムギツク、ドンコ、ドジョウなどの魚や、ミズカマキリ、ヤゴなどの水生昆虫、ヒバカリ（ヘビ）もいた。

さん（城北畑小3年）は「ミズカマキリを捕った。ザリガニも捕まいたい」と目を輝かせていた。